

法人（事業所）理念	気づきと思いやり		
支援方針	お子さま1人ひとりの成長や個性・特性に合わせた活動プログラム(個別・集団療育)を提供します お子さまの力と可能性を引き出し楽しみながら心身の発達に繋がるよう支援いたします		
営業時間	9:00～17:00（延長：朝8:00～ 夕方 18:00まで）	送迎実施の有無	応相談
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当園時・午後・延長時間帯の定期的な心身の把握（体温、SpO2、心拍、肺等）</li> <li>・生活習慣や生活リズムの形成</li> <li>・朝の会→入浴→個別療育→お昼ご飯→休憩→集団療育→帰りの会等の流れを行います</li> <li>・小さなサインや異変に気付けるよう各職種が情報共有しながら安楽に過ごせるような環境づくりを行います</li> <li>・楽しく食事ができるよう食事の前には一緒に「いただきます」の歌を歌い、口腔内機能や感覚等に配慮しながら希望があれば口腔内マッサージや咀嚼・嚥下、保持椅子等による姿勢保持、自助具等に関する支援を行います</li> <li>・生活の中で、さまざまな遊びを通して学習できるような環境を整えます。また障害の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすいよう構造化を行います</li> </ul>	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中の活動の中で理学療法士等による個別のリハビリの時間を取り入れ、保護者の方のご意見やご希望に沿った支援を行います</li> <li>・保有する五感等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援を行います</li> <li>・健康状態や活動内容に即した「楽」な姿勢を取り、無理なく意欲的に過ごせるように支援を行います</li> <li>・姿勢の保持や各種の運動・動作が困難な場合、保持椅子や様々な補助用具等の補助的手段を活用し無理なく活動ができるよう支援します</li> <li>・感覚や認知の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行います</li> </ul>	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の会において、天気・日付等の把握と確認による感覚・数の認知形成につなげる支援を行います</li> <li>・声をかけながら様々な質感の違う遊具に触れることで感覚の習得を行います</li> <li>・粘土、スライム等感覚遊びによる物質の変化と感覚の発達を促す支援を行います</li> <li>・季節の変化への興味などの感性形成のための外出や行動の支援を行います</li> <li>・視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用し、療育やお友達との遊びの中で必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行います</li> </ul>	
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>*言葉の形成と活用</li> <li>・活動の中で「歩く」「止まる」など基本的な動作と言葉を結びつけます</li> <li>・活動の中で「赤・青・黄色・緑・白」の基本の色を見ながら確認することで、その色と言葉を結びつけます</li> <li>・活動の中で「頭・肩・お腹・膝」など伝えながら身体部位を触ることで結びつけます</li> <li>・活動の中で絵本等を使用し視覚で確認しながら「上・下・左・右・前後・反対」など方向を表す言葉を結びつけます</li> <li>・活動の中で「速く、ゆっくり」など速さを表す言葉と動作を結びつけます</li> <li>・活動の中で「どうぞ」「ありがとう」「ください」など社会性のある言葉と行動を結びつけます</li> <li>*言語の受容及び表出</li> <li>・絵本やお友達との遊びなどを通して「次は誰かな?」「これは何色?」と言った問いかけや、玩具などをもらう際に「ください」や「お願い」といった言葉を聞いたり発してもらったりすることで話す事の楽しさを感じてもらえるよう支援します</li> </ul>	
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>*アタッチメント(愛着)の形成と安定・遊びを通じた社会性の発達</li> <li>・職員とのふれあいや近隣の保育園児との交流など、一緒に活動する中で対人意識の向上と他者への信頼感獲得を目指します。一緒にふれあう中で玩具を他の人に渡す、または玩具をもらう際などに互いの意思表示をするなどを通して社会性の向上を目指します。</li> <li>・ふれあいや遊びの中で順番を守る・お友達をほめる/ほめてもらう・一緒に挑戦して頑張ったね!と認め合うなどの環境を提供し支援します</li> <li>*仲間づくりと集団への参加</li> <li>・集団療育の時間を設けみんなで楽しむ事で、集団への参加意識を高めるとともに集団活動での成功体験を積み「1人よりもみんなのほうが楽しい」という経験を提供します</li> </ul>	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てやケアの助けとなるように、本人の強み・感覚や認知の特性などをお伝えし、半年に1度の面談等を行います</li> <li>・年に4回の親子参観、年に2回の保護者会/保護者交流会を行い、愛着形成のお手伝いや他の保護者の方と交流し悩みなどを相談や共有する機会を設けます</li> <li>・延長時間を設定し(8:00～9:00/17:00～18:00)保護者の方のレスパイトや職場復帰など支援します</li> <li>・第2土曜のお預かりでございましたら児童支援を行います</li> </ul>		
移行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の強み、感覚や認知の特性を移行先と情報共有し、本人安心して過ごせるよう受け入れ先が安心してお預かりできるよう支援します</li> <li>・近隣の保育所と定期的に交流し、普段と異なる活動や子ども同士の関わりなどインクルーシブ保育につながる活動をすすめていきます</li> </ul>		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携会議に積極的に参加し、情報収集や共有など関係機関で役割分担などについて協議します</li> <li>・各関係機関からの情報に基づき具体的な場面での子どもとの関わり方やポイントなどの提案をします</li> </ul>		
職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>*月に1度の社内研修</li> <li>・BCP(感染・災害)研修</li> <li>・虐待防止/権利擁護研修</li> <li>・接遇研修</li> <li>・セルフキャリアアップ研修</li> <li>・研究発表会 等</li> </ul>		
主な行事等	別紙参照		